



TOSTEM

リプラス 専用枠 連窓方立 組立て説明書

●組立てされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

▲注意 …組立てを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

▲注意



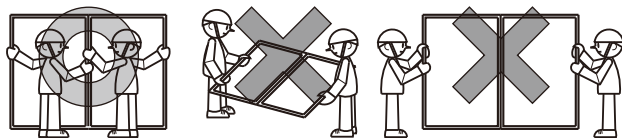
- 漏水の原因になりますので、下記事項をお守りください。
- ・連窓方立に張付けてあるシール材は、絶対にはがさないでください。
- ・シール材がはがれたまま組立てたり、浮きやズレがないようにしてください。
- ・サイズ・重量に応じて、複数人で組立て作業をしてください。
- ・ねじ止めは、連窓方立の溝と縦枠の溝を一致させてください。
- ・かん合にズレやすき間がないようにしてください。

組立て上のお願

- 必ず指定の組立てねじを使用してください。
- ガラス破損防止のため、ガラスは枠を躯体に固定した後に入れてください。
- 枠連結部に無理な力をかけないでください。枠が変形するおそれがあります。移動する場合は、立てたまま連窓方立部分をしっかり支持してください。
- 連窓後の取付けは、「リプラス 専用枠 取付け説明書」を参照してください。
- 反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズついたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

組立て後の取扱いとお願い

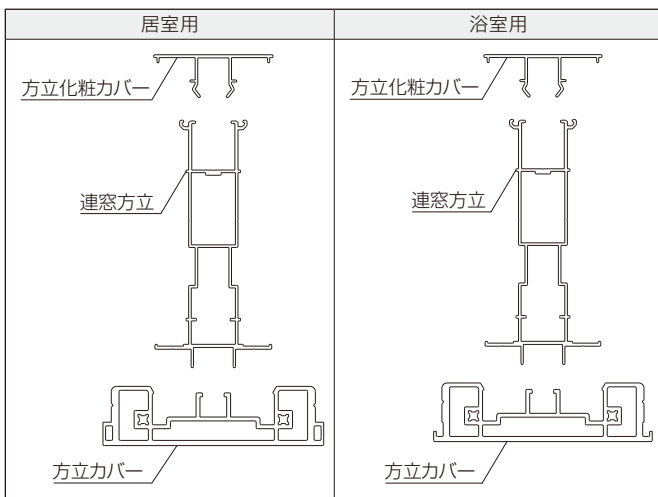
- 組立て後、枠を横にして持ったり、枠連結部に無理な力をかけたりしないでください。また、移動する場合は、立てたまま連窓方立部分をしっかり支持してください。ねじが抜けて破壊するおそれがあります。



※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	連窓方立に張付けてあるシール材をはがしていないか	<input type="checkbox"/>
2	シール材がはがれたまま組立てしていないか	<input type="checkbox"/>
3	専用枠と連窓方立のかん合にズレやすき間はないか	<input type="checkbox"/>

■部材一覧



※方立化粧カバーは新設サッシ枠、化粧カバー取付け後に取付けますので、現場での取付けになります。
※開口縮小の場合は、方立カバーは使用しません。

■部品一覧

※下表の記号は本文図中の記号を表します。間違いのないよう使用してください。

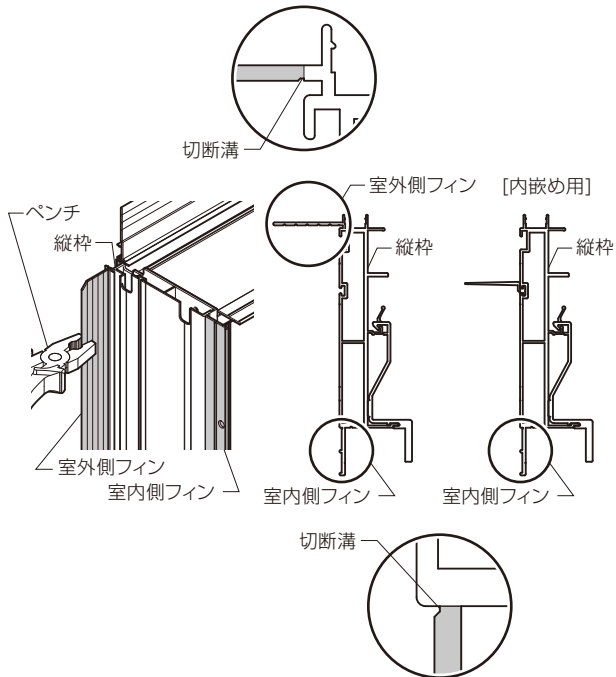
記号	①	②
姿図		
	なべドリルねじ φ4×8 枠取付けねじ	皿タッピンねじ φ4×12 方立カバー取付けねじ

連窓方立部品セット	
方立端部ピース上(室外側)	方立端部ピース下(室外側)
止水材付き 	止水材なし
方立端部ピース上(室外側)	方立端部ピース取付けねじ
 ※内嵌め用の場合	 トラスタッピンねじ φ4×18

1 新設サッシ枠の準備

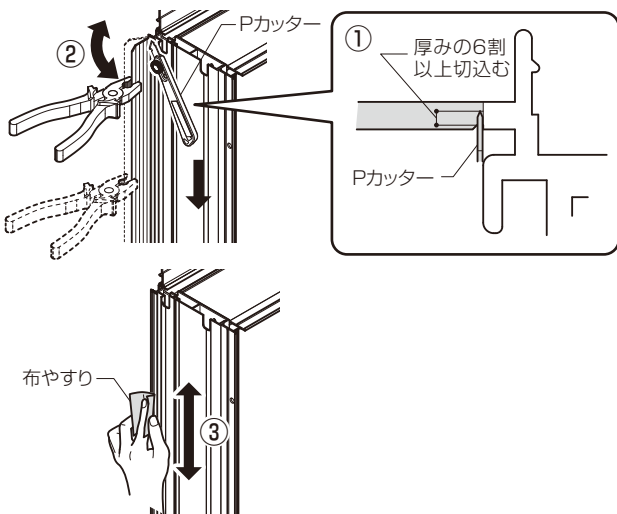
- 新設サッシ枠の組立てをしてください。組立て詳細は「リプラス 専用枠 組立て説明書」を参照してください。
- 連窓側の縦枠フィンの切断をしてください。
※内嵌め用の場合は、室外側フィンはありません。

●縦枠フィン

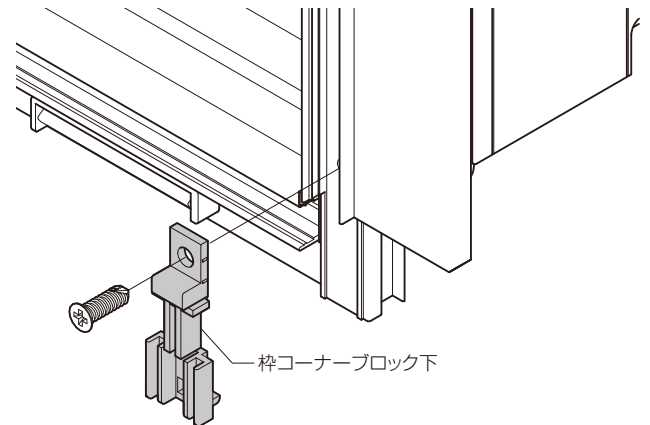


●切断手順

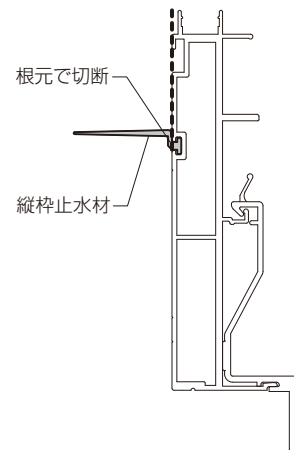
- ① 枠の裏面にある溝に合わせてPカッターで部材全長に数回切込みを入れます。
※アルミ材の厚みの6割以上切込んでください。
- ② ペンチなどで端部から折り曲げをくり返して折り取ってください。
- ③ 切断した面を、布やすり(推奨粒度400以上)で研磨し、バリ取りを行ってください。



- 連窓側の枠コーナブロック下を取り外してください。



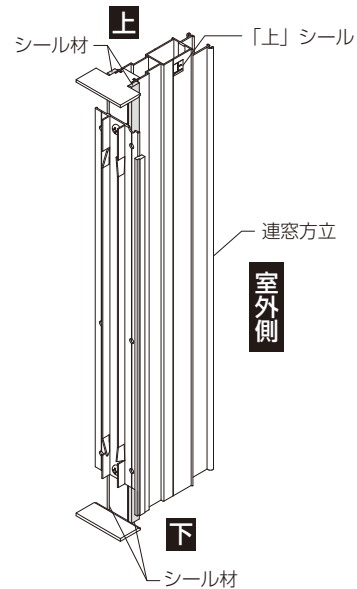
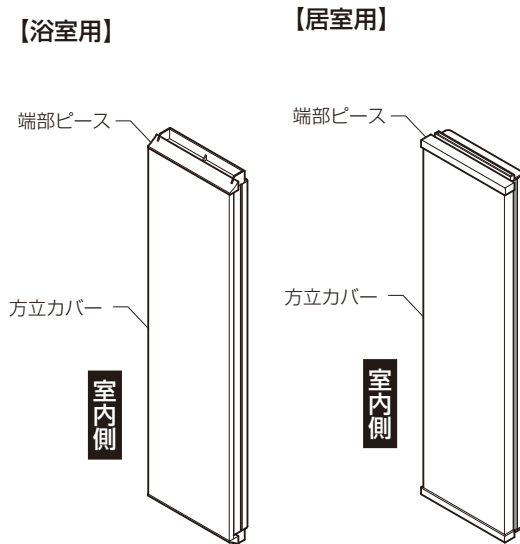
- 内嵌め用の場合は、連窓側の縦枠止水材を根元から切断または、はぎ取ってください。



2 連窓方立との連結

※連結前に連窓方立の上下を確認してください。(図1)
 連窓方立に「上」シールが張り付けてあります。
 (方立カバーに上下はありません。)

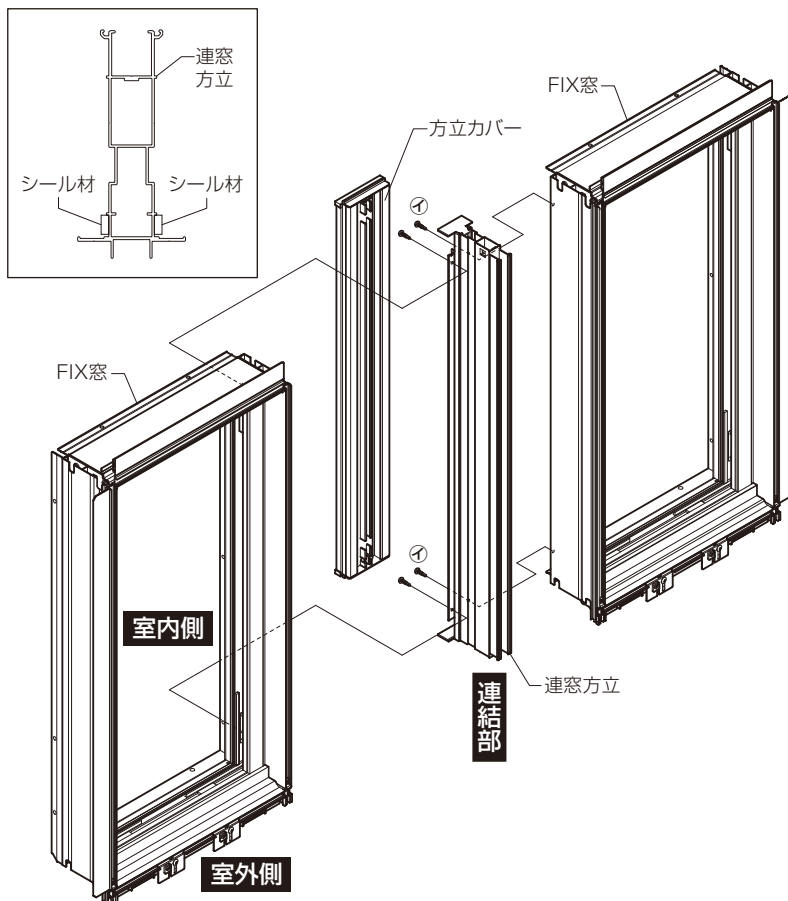
(図1)



図は代表として、FIX窓+FIX窓になります。

①連窓方立を枠にはめ込みます。

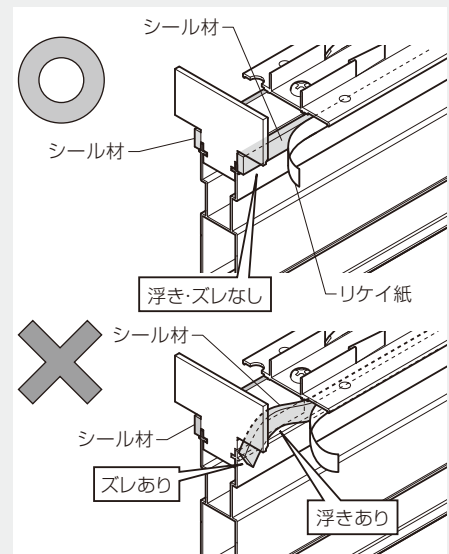
※連窓方立に張付けてあるシール材のリケイ紙は、はがしてください。



⚠ 注意



●連窓方立に張付けてあるシール材は浮きやズレがないようにリケイ紙をゆっくりはがしてください。漏水の原因となります。

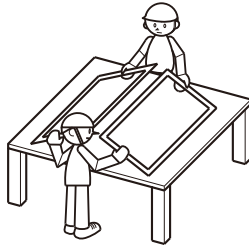


2 連窓方立との連結(つづき)

▲ 注意



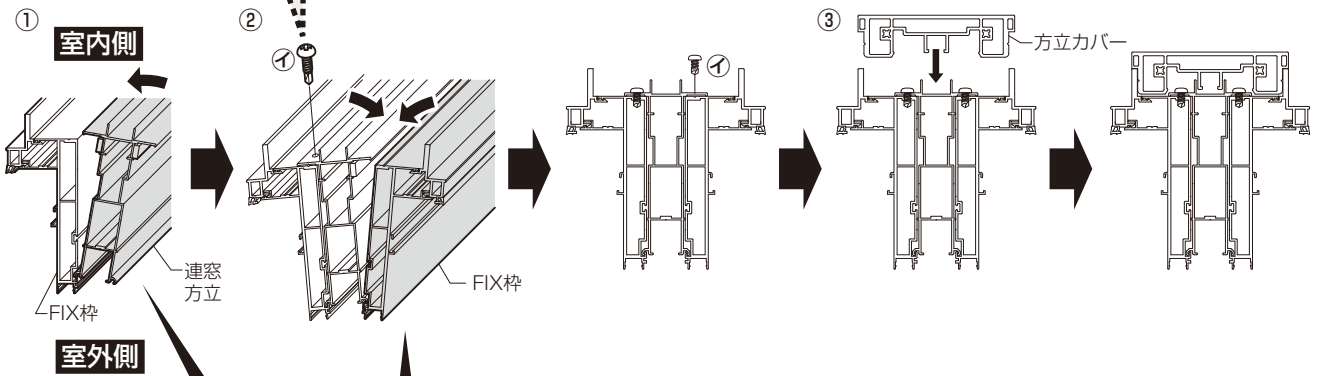
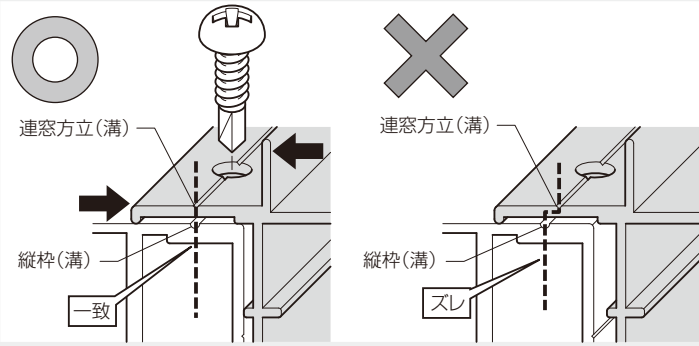
● サイズ・重量に応じて、複数人で組立て作業をしてください。漏水の原因になります。



▲ 注意



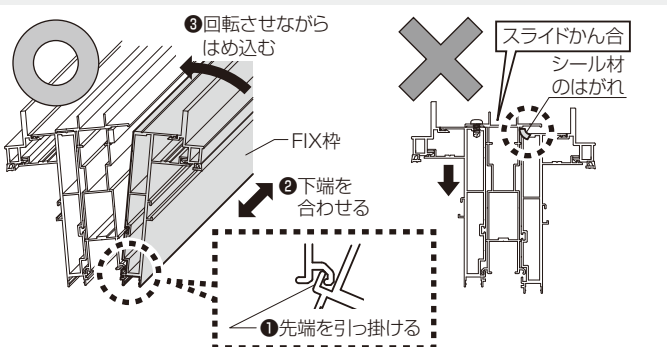
● ねじ止めは、連窓方立の溝と縦枠の溝を一致させてください。漏水の原因になります。



▲ 注意



● 方立と縦枠の連結は下記の手順で行ってください。漏水の原因になります。



2連窓方立との連結(つづき)

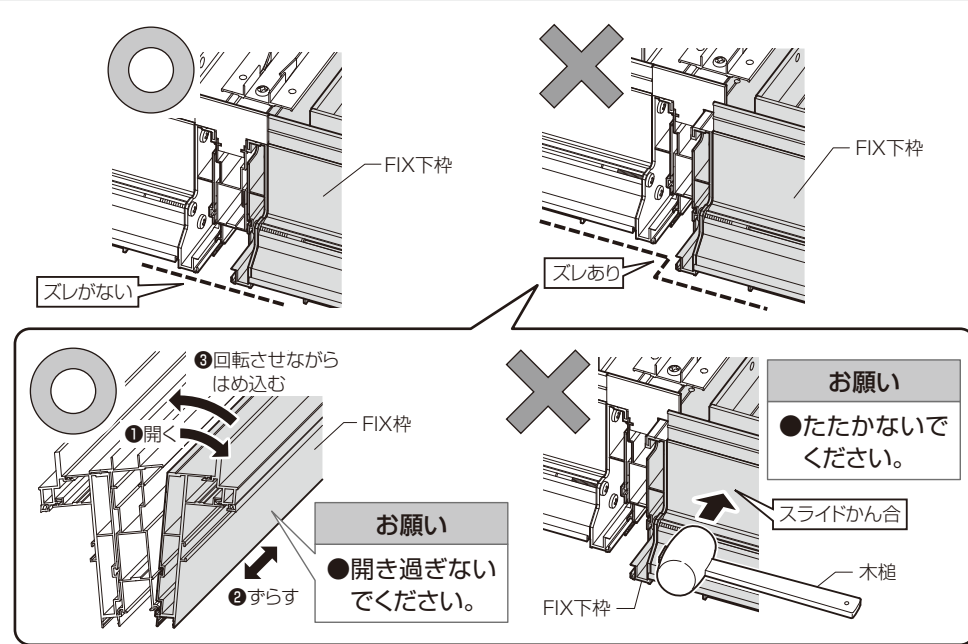
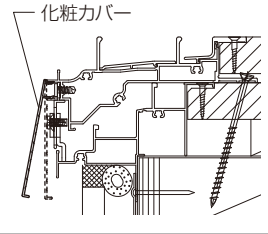
▲ 注意



- 下側を基準にかん合にズレがないようにしてください。ズレがある場合は下図の手順に従って修正してください。シール材がはがれたり、ズレて漏水の原因になります。

施工上のお願

- かん合にズレが出ると、化粧カバー取付け時に化粧カバーのかん合がしにくくなります。



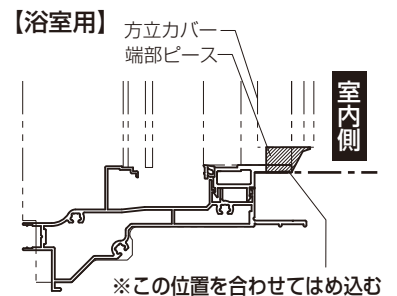
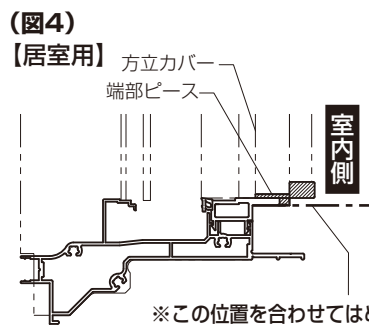
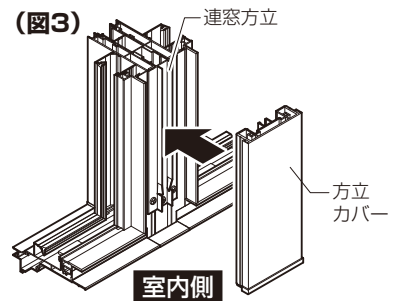
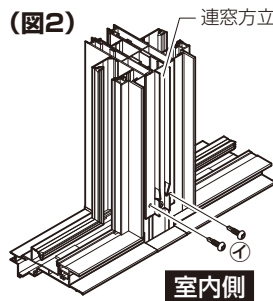
② FIX枠を連窓方立にはめ合わせ、下端の穴位置を合わせながら穴をすべてねじ止めます。(①のねじ) (図2)

※ 下端のみ新設サッシ枠に下穴があります。それ以外の穴は新設サッシ縦枠の溝に合わせて位置決めし、ねじ止めます。

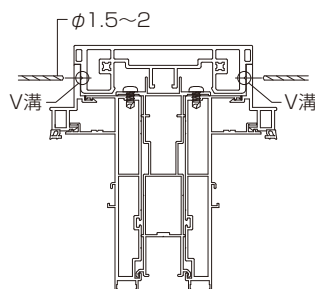
※ ねじ止めにしにくい場合は、φ3.4ドリルで下穴をあけてください。

③ 方立カバーは、方立カバーに取付いている端部ピースと新設サッシ下枠アングルの位置を合わせはめ込みます。(図3,4)

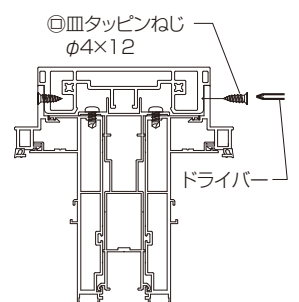
※ 開口縮小の場合は、方立カバーの取付けはありません。



④ 新設サッシ枠のアングル取付け穴から方立カバーのV溝に、φ1.5~2のドリルで下穴をあけます。



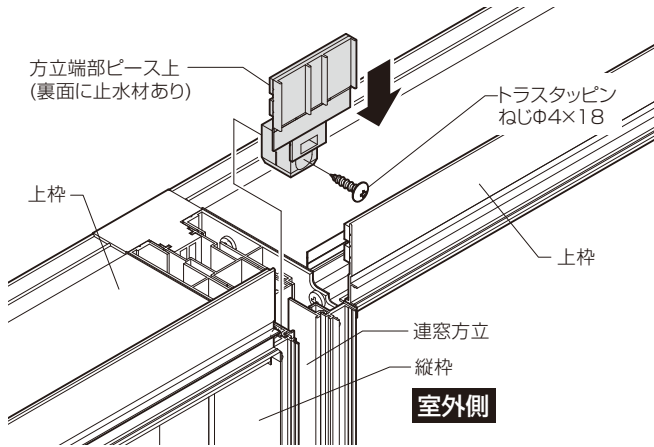
⑤ アングル取付けねじを取付けます。※ 方立カバーの浮き・ガタツキがないことを確認してください。※ アングルねじはまっすぐにねじ込んでください。※ アングルねじの締めすぎに注意してください。形材が変形などをおこさない程度に締付けてください。



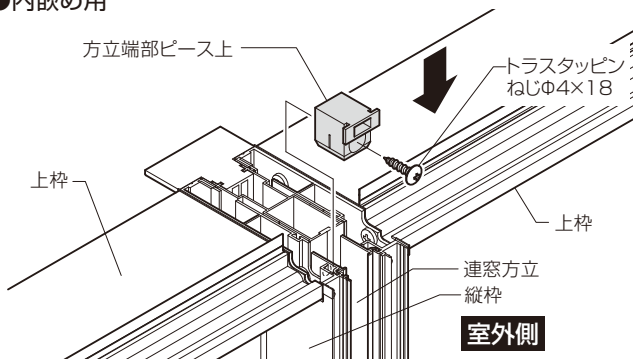
3 方立端部ピースの取付け

- 方立の上下に方立端部ピースを差し込み、取付けねじでねじ止めしてください。

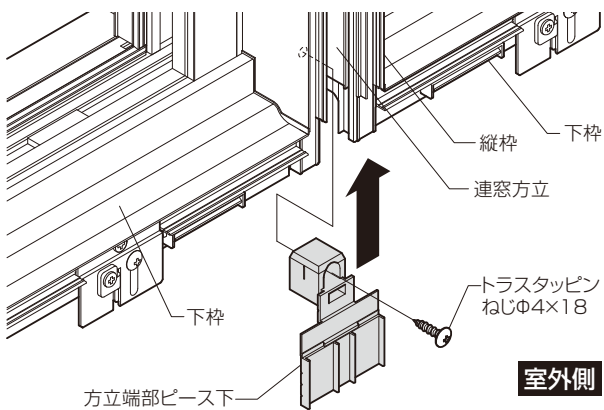
■上部



●内嵌め用

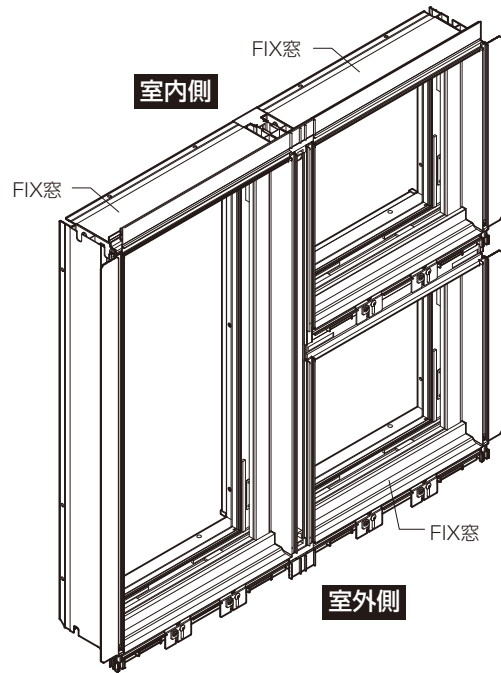


■下部



■連段窓の場合の組立て順序

- 図は代表として、FIX窓/FIX窓+FIX窓になります。
- ※障子・ガラスは、枠を躯体に固定した後に入れてください。



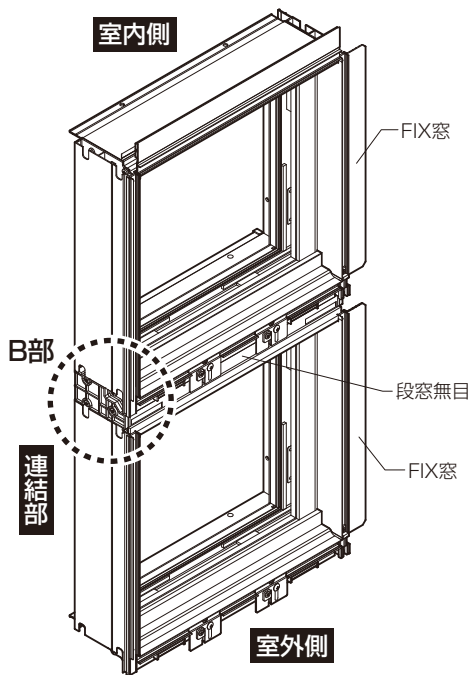
1 段窓部の組立て

※枠の組立ては、「リプラス専用枠 組立て説明書」を参照してください。

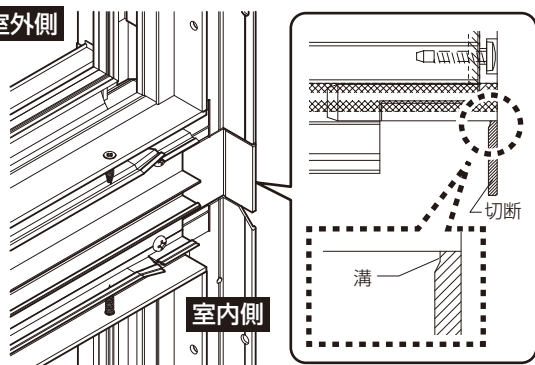
※段窓部の詳細は、「リプラス専用枠 段窓無目組立て説明書」を参照してください。

段窓組立て後

- ①連窓側の縦枠フィンを切断してください。(1 新設サッシ枠の準備参照)
- ②連窓側の段窓無目端部ピースを切断してください。(B部詳細図参照)
- ③連窓側の枠コーナブロック下を取り外してください。(1 新設サッシ枠の準備参照)



B部詳細図

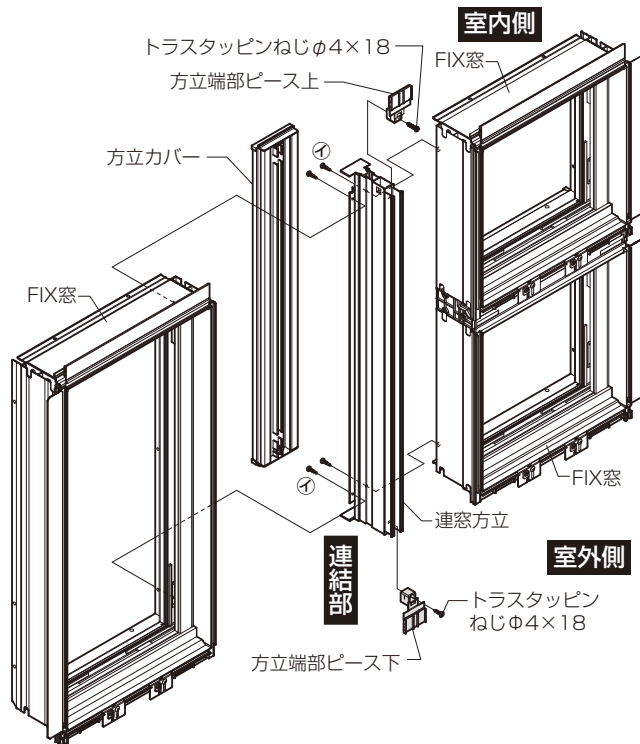
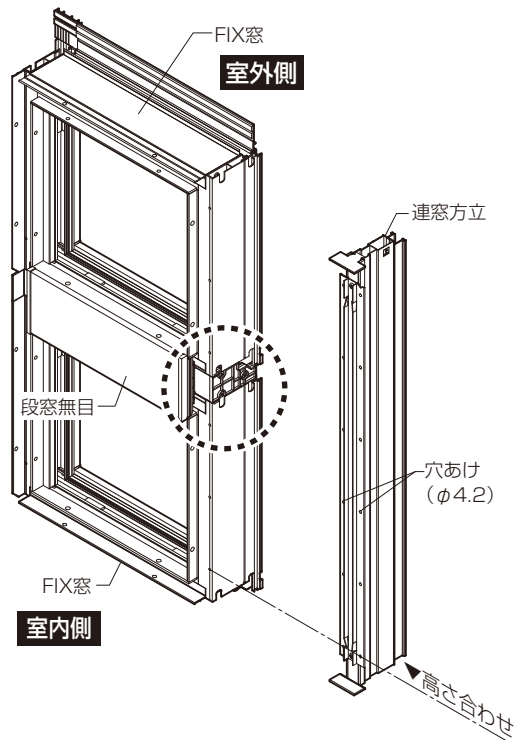


2 連段窓の組立て

①組立て順序「2 連窓方立との連結」を参照してください。

※連窓方立の合体穴が、(B部)の段窓サッシの縦枠(連結する相手部材)がない部分にきた場合、連窓方立の合体穴を上または下にずらして穴(φ4.2)をあけてください。

②組立て順序「3 方立端部ピースの取付け」を参照してください。



MEMO
